

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・デジタルに置き換えてやってみるにより、「編集が必要な時はデジタル。相手や目的によって手書きのメリットを考える。」などの使い分けの意識が芽生えた。
 ・授業以外でもその利便性を実感することで、使い慣れることができた。高学年児童からは「～に〇〇を使いたい。」と意見が出るようになった。

課題

・効果的な活用となるかどうかの事前の判断が難しい。
 →よかったものをデジタルで残していく。
 ・きまりを守れない子がいた。
 →学習に使うことを基本に、依存してしまわないように自主学習の時間を週1回とする。

校内研修のアイデア

- ・体験型の研修により、ICT活用のメリットを伝える。
- ・実践事例の交流により、活用の幅を広げる。
- ・学校研究とタイアップし、国語科における効果的活用の実践例を積み上げる。
- ・教師と児童の創造的な活用事例の共有により、主体性を高める。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・ICTを活用して協働的に学ぶ。
 (共有による効率化、思考ツールを用いて考えの視覚化および交流)
- ・考えの変化、これまで学んだ知とのつながり(ネットワーク化)を実感できる。
- ・それらを自分たちの学びとして、今後の学習活動や学校生活に生かす。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	協働的な学び体験[年代ごとのグループ]	GIGA推進リーダー	学級開き
5月	Googleアプリの基本 フォルダ共有・コメント機能について[学年ごと]	GIGA推進リーダー	活用計画提案
6月	授業構想段階でのICT活用[学年ごと]	研究主任	計画訪問
7月	1学期の成果と課題・2学期に向けて[学年ごと] ミライシード・Navima活用事例	研究主任 GIGA推進リーダー	全体研修会
中間 目標	・ノートやワークシートを、ICT活用に置き換え、より効率化された協働的な学習をコーディネートする教師。 ・学習の足跡を、板書の写真やスライドで残すことができる教師。		
8月	国語科におけるICT活用の実際[全体] 金沢星稜大学 細川氏による演習・講演	GIGA推進リーダー	全体講習会
9月	実践交流および教材共有[全体]	GIGA推進リーダー	職員終礼
10月	研究のまとめ[学年ごと] まとめサイトの素材を出し合う	GIGA推進リーダー	職員終礼
11月	研究のまとめ[全体]	研究主任 GIGA推進リーダー	研究発表会
12月	2学期の成果と課題・3学期に向けて[学年ごと]	研究主任	
中間 目標	・児童と共に「どのツールを使って学ぶか」を検討することができる教師。 ・学習の足跡と現在の学習、今後の学習「生き方」をつなげることができる教師。		
1月	来年度の研究の方向性について	研究主任	
2月	データの共有・記録・整理について	GIGA推進リーダー	
3月	今年度の成果と課題	GIGA推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能美市)立(福岡小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(三川菜々)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・実際にアプリケーションを使いながら行う研修を前半に多く実施したところ、児童が難しいと感じるところや、操作上気をつけなければいけないところなどを、教員が経験しながら学ぶことができ、その後授業で実際に行うまで円滑に進めることができた。
 ・2学期以降に週に1度程度実践報告会を実施し、より多くの活用方法に触れることで、実践意欲につながり、教員、児童ともにICT機器を有効に活用することができた。

課題

・教員間、クラス間で使用頻度、スキルなどに差がある。ICTサポーター等を有効に活用しながら、系統的に指導できるよう各学年に見合った活用スキルを身につける。またそれを行う指導力も、研修や実践報告を通して身につけていく。
 ・それぞれのアプリケーションの使い方は理解できているが、その有効な使い方についてはまだあまり理解できていない部分がある。より児童の深い学びに結び付く方法を考え、実践し、交流していく時間を確保し、計画的に行っていく必要がある。

校内研修のアイディア

《活用期の充実に向けて》

- ・週に1回程度実践報告会を実施し、より多くの活用方法に触れる。そして、授業のねらいの達成に向けて、ICTの効果的な活用ができた実践について共有する。
- ・授業等で使用したワークシートのデータを教職員共有フォルダに各学年蓄積する。
- ・ICTが苦手な教員に対しては、個別に端末の操作方法を教える機会を持つ。
- ・ICT推進モデル校の授業実践を視聴し研修する。
- ・ICTサポーターを講師として、ICTを活用した授業実践について研修を深める。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全教員が、担当する教科で「児童が一人一台端末を活用して学ぶ授業」を行うことができる。
- ・児童が、授業で1日2回以上端末を使用する。
- ・児童が、自分の考えを他者に公開したり、コメントをもらったりしながら、考えを深めることができる。
- ・ICT活用の効果的な活用場面・方法等を検証・評価・改善し、実践の積みあげをしていく体制作りができていく。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会 [全体] navima講習会 [全体] Gsuite研修(ドライブ) [全体]	推進リーダー ベネッセサポーター	
5月	ミライシード授業活用研修会 [全体] 実践報告会 [全体]	推進リーダー ベネッセサポーター	
6月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) Gsuite活用研修 [全体] ICT推進モデル校の授業実践視聴 [全体]	ベネッセサポーター	
7月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) 実践報告会・1学期の成果と課題 [全体] 「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時)	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が、児童が1日2回以上端末を使用するよう授業を行う。 ・全教職員が、能美市withクロムスタイル帳を活用して授業を行う。 ・児童が能美市学年別スキル帳の内容項目を習得する。 		
8月	外部講師による校内研修 [全体] 「目標達成にこだわった授業づくりにおけるICT活用」 Gsuite活用研修(クラスルーム・授業事例) [全体]	ベネッセサポーター	
9月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) 電子黒板活用研修 [全体] 実践報告会 [全体]	ベネッセサポーター 推進リーダー	
10月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) ミライシード授業活用研修 [全体]	ベネッセサポーター	
11月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) 電子黒板活用研修 [全体] 実践報告会 [全体]	ベネッセサポーター 推進リーダー	
12月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) 実践報告会・2学期の成果と課題 [全体]	高学年部会 推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が授業に有効な手段を理解することができる。 ・児童が、自分の考えをICT機器を使って他者に伝えることができる。 ・児童が、能美市学年別スキル帳の内容項目を習得する。 		
1月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) ICT授業活用研修会 [全体] 実践報告会 [全体]	ベネッセサポーター 中学年部会	
2月	「端末操作」個別相談(ベネッセサポーター来校時) ICT授業活用研修会 [全体] 実践報告会 [全体]	ベネッセサポーター 低学年部会	
3月	実践のまとめ・次年度に向けて [全体]	推進リーダー	

目標の達成に影響を与える現状	
＋ (強み)	－ (弱み)
①児童・教師ともに活用する意識・技能が身についた。 ②教材準備が楽になり、評価もしやすいという前向きな意識が広がってきている。 ③職員の連絡から実践報告・日々の健康観察までクロムブックが学校生活の一部にしっかりと定着している。	①ICT支援員の活用や利用に関する学年間に差がある。 ②利用のきまりを逸脱する児童への対策。 ③クロムブックありきて本当につけたい力が疎かになる危険性を感じている ④外部との連携が不十分 ⑤校内研修の内容や時期が十分検討されていない。

校内研修のアイデア
①学年で学期1回学習単元内にGIGAを組みこんだ実践をおこなう ②初任者・転入者に向けたオープン参加型のスキルトレーニング ③授業の中で使える実践を紹介するミニOJT実施

目標「令和3年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
・児童がクロムブックを利用して自分の考えをより豊かに表現することができる。 (スライド・ジャムボード・フォーム・ドキュメント) ・児童が各々の課題を意識してAIドリル学習に意欲的に取り組むことができる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGA校内研修, 今年度の目標共有 ・年間計画提案・Chrome bookオープン研修(クラスルーム・AIドリル・電子黒板)・1学期の実践計画(学年会内)	GIGA担当	
5月	Chrome bookオープン研修「Googleアプリの基本的な操作」 (ドキュメント, スプレッド, スライド, フォーム等)	GIGA担当	
6月	Chrome book校内研修・学習サイトの活用方法・授業に使えるICTミニOJT(東出T)	GIGA担当	
7月	Chrome book校内研修 ・各学年での実践集約	GIGA担当	
中間 目標	「有効な実践を探る」 ・全学年で単元内にGIGAを組み込んだ実践を1回以上行う。 →児童アンケート「使ってよかった」項目90%以上		
8月	Chrome book校内研修・今まで行った実践整理, 交流+次学期単元計画作成	GIGA担当	
9月	Chrome book校内研修・学年会で実践を振り返り	GIGA担当	
10月	Chrome book校内研修・学年会で実践を振り返り		
11月	GIGA担当者によるChrome book活用提案授業の実践	GIGA担当	
12月	Chrome book校内研修 ・授業での活用方法を各学年で考案・実施		
中間 目標	「実践の類型化・定着」 ・GIGAを組み込んだ単元で行った検証テストで平均90%以上		
1月	Chrome book校内研修 ・Chrome book活用提案授業の校内授業整理会 ・授業での活用方法を各学年で考案・実施	GIGA担当	
2月	Chrome book校内研修 ・授業での活用方法を各学年で考案・実施	GIGA担当	6年生を送る会
3月	Chrome book校内研修 ・来年度を見据えた活用方法・授業での活用方法 ・各学年で考案・実施1年間の実践振り返りと次年度における意見交流 (年間のふりかえりアンケート作成・集約)	GIGA担当	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能美市)立(粟生小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(吉田・粟生・北本)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・年間の取り組みを通して、学習に活用する道具という認識は定着させることができた。
- ・特に高学年を中心に様々なアプリを活用して学習を進めることができている。
- ・過渡期ということもあり、精査したきまりを用いて指導することで児童間での大きなトラブルなく活用することができている。
- ・職員会議と終礼のリモート化により心理的ハードルが下がり校務や授業の中で当たり前のように取り入れることができている。

課題

- ・低学年では、他の指導との兼ね合いや危機管理面から、当初計画していた活用が難しかった。現状では、今年度以上の活用は難しいと考えられるため、ローマ字入力が可能になる3年生以降での活用に重点を置く等、児童が効果的に活用することのできる仕組みづくりが必要である。
- ・児童のタブレット端末の扱い方については、引き続き内容を精査しながら指導する必要がある。柔軟にきまりを設定しながら指導することで、トラブルの未然防止にもつながる。
- ・今後も効果的な活用を続けるための仕組みづくりが必要である。学級間での活用スキルの差を小さくする為の学年別スキル表の活用や教員間で情報共有する機会の確保が必要である。
- ・保護者の活用スキル向上も可能な限り進めたい。接続訓練を繰り返し、向上を図る。

校内研修のアイデア

- ・前年度のClassroomで児童とどのようなやり取りをしていたのか、課題を出したり回収したりをどんな単元でどのように行っていたのかを参考にして取り組みやすくするためのシステム作りをする。
- ・1学期に定期的にOJTを行い、活用できるアプリの紹介や使い方を共有しておくことで学習場面で使用する機会をより多くとれるようにする。
- ・若プロと兼ね、実践事例交流の場を確保する。
- ・児童の目線から活用場面を体験できる場を設ける。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【児童目標】
ICTを一つの方法にとらえ、目的に応じて選択したり使い分けたりすることができる姿

【教員目標】
ICTの活用の視点で単元計画を立てる。
児童が活用し続けられる環境を作る。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[全体研修] Chrome bookの環境整備・授業での活用方法について	リーダー	8日(金)第1回連絡協議会 25日(月)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
	[全体研修] GIGA体験会…児童目線からのアプリ体験	リーダー	
5月	[OJT] Classroomを用いた課題作成の仕方・リンク集の作成の仕方	リーダー	13日(金)ICT活用授業研究会・視聴覚教育研究会 17日(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 27日(金)ICT活用授業動画撮影
	[全体研修] GIGAにおける児童と教員の目標の共有・ICTを活用した授業の効果についての共有	リーダー	
6月	[OJT] 大型テレビの授業での活用方法 [全体研修] ICTを活用した授業の効果についての共有	リーダー	
7月	[OJT] アンケートフォームの作成の仕方 [全体研修] 2学期に向けて…1学期に行った実践の整理	リーダー	
中間目標	【児童目標】低…「カメラ」を使って画像を撮影し、教員に提出することができる。 中…Classroomを使って課題を提出したり、共有作業をしたりすることができる。 高…様々なアプリの中から必要なものを選択し、活用することができる。 【教員目標】異動者を含めた教員間のICT活用実践力の差を解消する。 実践した事例の中から、効果的・効率的なものを全体で共有する。		
8月	[部会別研修] 教科及び学年ごとに、2学期以降の活用場面の選定	リーダー リーダー	
9月	[全体研修] GIGA研究発表に向けた指導案検討及び模擬授業等 [全体研修] ICTを活用した授業の効果についての共有	研究主任 リーダー	13日(火)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	[研究発表] GIGA研究発表会10月25日(火)…全体説明、公開授業、授業整理会、全体会	研究主任 リーダー 全職員	
11月	[全体研修] GIGA研究発表会でのICTの活用の効果についての検証及び今後に向けての改善策	研究主任 リーダー	
12月	[全体研修] GIGA活用指導力強化事業を通しての成果と課題の整理	リーダー	6日(火)メ切実施報告書 16日(金)第2回連絡協議会
中間目標	【児童目標】低…Classroomを使って課題を提出することができる。 中…「検索サイトの利用」「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」を使うことができる。 高…ファイルを共有編集できるようにしたり「アンケート機能」を使ってアンケートを作成・集計したりすることができる。 【教員目標】効果的・効率的だった実践を精選して3学期以降の活用につなげる。		
1月	[全体研修] 今年度実践を受けて…成果と課題の洗い出し	リーダー	27日(金)メ切所要経費報告書
2月	[全体研修] 報告会…年間を通しての成果と課題をアウトプット	リーダー	
3月	[全体研修] GIGA整理…データ内の不要なファイルの整理、保管庫や持ち運び袋など周辺機器の清掃について	リーダー	
	[全体研修] 次年度へ向けて…児童の実践力の統一と共有		

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・1人1台端末をまず「使ってみる」ことを提案し、授業での利用回数が増えた。
- ・一学期を中心に職員会議や終礼の時間の中にミニ研修という形で10～20分の内容をしぼって研修を行ったことや授業におけるICTサポーターとの連携場面やアプリを使った教材の紹介などによって2学期以降の授業での活用場面が増えた。また大型電子黒板が高学年に導入され各教室でICTを活用した授業展開が増えた。
- ・1月に行った各部会による授業実践のふり返りでは、実際に授業で使用したデータなどを見ながら、成果や課題を話し合うことで授業での活用場面を具体的にイメージすることができた。
- ・職員オンライン会議や学校行事等のオンライン開催を行うことができた。

課題

- ・ICT機器を活用した授業を見合う機会をあまりとることができなかったため、実際に授業で活用している場面を見合うことで効果的な使い方を探っていくことができるようにしたい。
- ・他校との情報交換の場(クラスルーム)が設定されていたがうまく活用することができなかったため、GIGA推進リーダーを中心に情報を載せたり、クラスルームにあがっている情報を定期的に紹介していくことができるとよい。
- ・低学年の活用開始が計画より遅れてしまったので年度初めに年間計画を提案して各学年に見通しをもってもらい、年度当初から活用できるようにしていきたい。
- ・教師間の力量の差があるため研修を継続実践して全体のスキルを上げていく。
- ・業務改善にも生かせる方法を提案していく。

校内研修のアイデア

- ・学校研究との連携(研修・実践・取り組み)
- ・チャットでの共有(効果的な活用方法)
グーグルチャットに教師が実践して有効であった実践やうまくいかなかった実践(GIGA担当を中心に活用方法の検討→提案)をアップし、共有できるようにする。他校との情報交換用クラスルームの情報もこの場で紹介していく
- ・ICTサポーターの来校日と職員会議や校内研修の日をできるだけ合わせ、会議や校内研のなかにミニ研修を組み込んでもらう。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【ICT活用について】

- ① 児童が検索サイトやカメラ機能の利用、キーボードによる文字の入力(3年生以上)などの基本的なスキルを身につけている。
- ② 児童がクラスルームでストリームでの会話、課題の受け取り、提出などの教員とのやり取りを行うことができる。
- ③ 児童が授業のなかでプレゼンテーション、ジャムボードの共同編集や学習支援ソフトによる協働的な学び合いをスムーズに行うことができる。

①～③の実現に向けて本校の教員が必要なスキルを身につけている。また①～③を効果的に活用した授業実践を行う。

【学年に応じた目標】

低学年:自分の考えや思いを表現することができる。(ジャムボード ドキュメント 写真撮影 ペンツールでの書き込み 音声・文字入力)

中学年:情報や考えを整理し、発信することができる。(スライド ドキュメント スプレッドシート フォーム)

高学年:複数の情報を整理分析し、まとめて発信することができる。(ジャムボード スライド ドキュメント スプレッドシート フォーム Meet)

【活用場面】

A:一斉学習・教員による教材の提示・思考を深める学習

B:個別学習・個別学習・調査活動・家庭学習・表現制作

C:協同学習・発表や話し合い・協働での意見整理・協働制作・学校の壁を越えた学習

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	クラスルーム・グーグルチャットによる情報交換に関して[職員会議提案]	推進R、ICTサポーター	授業参観
5月	活用実践 情報共有 [Google chat] モデル授業 [中学年部会・研究部]	推進R、ICTサポーター	
6月	活用実践 交流 情報共有 [Google chat] 各部会公開授業 [部会・研究部]	推進R、ICTサポーター	
7月	活用実践情報共有 [Google chat] 各部会公開授業 [部会・研究部]	推進R、ICTサポーター	
中間目標	児童:目標ICT活用について①～③の操作を授業の中で行った経験がある。 教員:目標ICT活用について①～③の達成に向けての授業を行った。		
8月	一学期の振り返り ICTを活用した授業の計画 [各学年]	推進R、教員、ICTサポーター、	
9月	計画訪問公開授業 [全体研] 各部会公開授業 [部会・研究部]	推進R、教員、ICTサポーター、	運動会
10月	活用実践 交流 情報共有 [Google chat] 各部会公開授業 [部会・研究部]	推進R、教員、ICTサポーター、	
11月	活用実践情報共有 [Google chat] 各部会公開授業 [部会・研究部]	推進R、教員、ICTサポーター、	
12月	授業実践の振り返り [低・中・高学年部会] 各部会公開授業 [部会・研究部]	推進R、教員、ICTサポーター、	
中間目標	児童:学年に応じた目標が達成できた。 教員:学年に応じた目標に向けて効果的にICTを取り入れて授業を行った。		
1月	各部会公開授業 [部会・研究部] 一年間の振り返りと次年度に向けて(年間計画の見直しや意見の集約)	推進R、教員、ICTサポーター、	
2月	一年間の振り返りと次年度に向けて(年間計画の見直しや意見の集約)	推進R、教員、ICTサポーター、	6年生を送る会
3月	一年間の振り返りと次年度に向けてをまとめる。	推進R、ICTサポーター、	卒業式

目標の達成に影響を与える現状

＋（強み）

【児童】日頃から、PC・スマートフォン・タブレット端末等の機器に慣れ親しんでいる児童も多い。
【教員】教育効果を上げるために、積極的にICT活用指導力を高めようと意欲的な姿がみられる。

－（弱み）

【児童】個人により、基本的な操作をはじめとしたPC活用能力には差がある。
【教員】ICT活用に関する実践経験が少ない。

校内研修のアイデア

- ICTサポーターと連携し、指導内容を充実させる。
- 学校研究とタイアップした取り組みを推進する。
- 校内研修を定期的に位置付け、指導力の向上を図る。（クローズド研修の実施）
- 1学期は、校内外のGIGA研修を通して実践を進めていく。
- 2学期は、全教職員でICT機器の効果的活用による教育方法の充実を図る。
- 3学期は、検証を行い、さらなる強み・弱みを洗い出し、次年度に繋げていく。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 【児童】
- ・情報活用能力とプログラミング的思考の育成。
 - ・児童がICTの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲を育む。
 - ・一人一台端末を操作し、互いの考えを交換し共有できる技能を身につける。
 - ・一人一台端末が主体的・対話的な授業に有効な手段となるように使用する。
 - ・AIドリルを帯タイムや授業に用い、基礎基本の確実な習得を図る。
- 【教員】
- ・児童が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、PCやソフトウェアなどを活用することを指導することができる。
 - ・学習状況を把握するために、児童の作品、レポートなどをPCなどを活用して記録・整理し、評価に活用することができる。
 - ・ICT機器の新たな活用方法を模索し、試みる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	①新たな授業づくり研修（動画視聴） [個人] ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]	各個人 推進チーム	
5月	①ICT機器を活用した授業づくり [個人] ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]	推進チ ーム・若 プロ コー ディ ネー ター	
6月	①授業公開 ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]		
7月	①1学期のふりかえり ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]	推進リー ダー	
中間 目標	①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を視点に効果的なICT機器の活用の発信、共有を図る。		
8月	①一人一台端末を活用した研究授業実践 ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]	各個人 推進チーム	
9月	①全体交流 ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]	推進チ ーム・若 プロ コー ディ ネー ター	計画訪問
10月	①先進校の視察 ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]		
11月	①全体交流 ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]	各個人 推進チーム	
12月	①2学期のふりかえり	推進リー ダー	
中間 目標	①全職員が「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を理解し、効果的なICT機器の活用ができる。		
1月	①全体研究会 ②週1回の定期的なGIGA研修 [OJT] ③月1回ICTサポーターを活用した研修 [全体研修]	各個人 推進チーム	
2月	①令和3年度の研究のまとめ	推進リー ダー	
3月	①令和4年度の方向性検討	推進チ ーム	

目標の達成に影響を与える現状

＋ (強み)

- ・小規模校なので、1クラスあたりのICTサポーター活用度が高い。
- ・職員の協働性が高く、ICT活用についても学び合いスキル向上させようとする風土がある。

－ (弱み)

- ・小規模校 (単級) のため、各学年での取組が1クラスに限定され改善案が実用されにくい。
- ・R3 教員のICT活用指導力等の実態調査「児童に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり比較させたりするために、コンピュータなどを活用する」の値が低い (4:22.2%)

校内研修のアイデア

- ・学校研究「自分の思いや考えを生き生きと表現できる子の育成～国語科の授業づくりを中心に～」と連動させて取り組む。
- ・個別最適の学びを推進した学力向上を目指し、AIによる個々の理解度に応じた問題を出してくれるシステムを使い、子供の達成感を向上させて成果を上げる。
- ・月に1回程度、「GIGA研修会」と題して、ICTサポーターの方と協力し、学校生活や授業の中で協働的に学べるように児童の意見を共有させたり、比較させ、個々の子供の学びを深められるようなICT機器の活用を中心に、校内研修を設定する。
- ・校内で日常的に実践報告をしあえるように、Googleクラスルームを設置し、情報共有できるようにする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全職員が学習の中でICT機器を効果的に活用して、児童の意見や考えを共有させたり、比較させたりできるようにする。
- ・各学年や学校生活の中でICTを活用した具体例を、実践報告をし合える環境を整える。
- ・教員のICTへの苦手意識をさらになくす。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGA校内研修 研究授業	GIGA校内研修推進リーダー	
5月	GIGA校内研修 Googleクラスルームのトピックについて	GIGA校内研修推進リーダー	県・市のリーダー研修会
6月	GIGA校内研修 ミライシードのオクリンクについて 実践報告会	GIGA校内研修推進リーダー	
7月	GIGA校内研修 Googleクラスルームのジャムボードについて 実践報告会	GIGA校内研修推進リーダー	
中間目標	児童に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり比較させたりするために、ICT機器を活用して、どのような方法があるか理解する。		
8月	GIGA校内研修 全体	GIGA校内研修推進リーダー	ICT活用授業研究会・視聴覚教育研究会
9月	GIGA校内研修 低学年 実践報告会	GIGA校内研修推進リーダー	異学年や近隣校との学習交流会
10月	GIGA校内研修 高学年 授業交流会 (他学年を参観)	GIGA校内研修推進リーダー	研究推進校の発表視察
11月	GIGA校内研修 中学年 実践報告会	GIGA校内研修推進リーダー	
12月	GIGA校内研修 低学年 実践報告会	GIGA校内研修推進リーダー	
中間目標	児童に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり比較させたりするために、ICT機器の活用方法を選び実践することができる。		
1月	GIGA校内研修 全体 実践報告会	GIGA校内研修推進リーダー	
2月	GIGA校内研修 まとめ	GIGA校内研修推進リーダー	県・市のリーダー研修会
3月	GIGA校内研修 振り返り 来年度に向けて	GIGA校内研修推進リーダー	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<p>【教師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに、端末活用の基本的な講習を行ったことで、職員全体の足並を揃えた実践ができた。 ・年間を通して、端末を活用した授業研究をしてきたため、異学年の活用事例を参考にすることができた。 ・定期的に端末活用の情報を共有することで、自身の実践に生かすことができた。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な端末活用をしてきたことで、学習ツールとしての活用が日常化してきた。 ・授業以外に、児童会活動など様々な場面で端末を活用することができた。 	<p>【教師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で端末を活用することはできたが、その活用が授業のねらいを達成するための効果的な活用になっているかどうか課題として残った。ねらいを達成するための効果的な使い方を探っていく必要がある。 ・定期的に活用事例の情報を共有してきたが、負担感なく、継続しやすい情報共有の仕組みを再考していく必要がある。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近なツールになってきたことで、休み時間などに学習以外の目的で端末を使用する場面が見られた。使用上のルールを見直し、児童の実態に合わせたルールに改定していく必要がある。

校内研修のアイデア

- ・スマートスクールネット(GIGAスクールライブラリ)のオンライン動画を視聴する。
- ・研究授業の指導案検討の際に、その教科におけるICT活用について動画を見たり調べたりする。
- ・GoogleMeetやzoom等を学校行事や全校集会などの場面で活用する。
- ・随時、ミライシードやjamboard等を授業で活用した実践交流の機会を設ける。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・Googleクラスルームを利用して、課題や資料を児童に配布する等、効果的に活用することができる。(教師)
- ・端末で撮影した写真や動画を資料として、自分の考えなどを発表することができる。(低学年)
- ・簡単なスライドを作成し、自分の考えなどを発表することができる。(中学年)
- ・グループで発表構成を考えながらスライドを共同編集し、考えなどを発表することができる。(高学年)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	「GIGAスクール構想」「Google for Education」について確認する(全体)	推進リーダー	校内研究授業
5月	ICTの効果的な活用場面を考える(国語・算数)(全体) 端末の活用状況について情報を共有する(全体)	推進リーダー	校内研究授業
6月	ICTの効果的な活用場面を考える(社会・理科)(全体)	推進リーダー	校内研究授業
7月	端末の活用状況について情報を共有する(全体)	推進リーダー	
中間目標	児童が自分の考えを持ち、それを表現している。 (高) 場面に応じてクロームブックを活用して学習している。 (低) クロームブックを使った学習に慣れている。		
8月	1学期の振り返りと2学期の取り組み確認	推進リーダー	
9月	ICTの効果的な活用場面を考える(音楽・図工)(全体)	推進リーダー	校内研究授業
10月	ICTの効果的な活用場面を考える(体育・家庭)(全体) 端末の活用状況について情報を共有する(全体)	推進リーダー	校内研究授業
11月	ICTの効果的な活用場面を考える(外国語)(全体)	推進リーダー	校内研究授業
12月	端末の活用状況について情報を共有する(全体)	推進リーダー	
中間目標	児童が自分の考えを持ち、それを表現している。 (高) 目的に合わせてクロームブックを活用して学習している。 (低) 自分でクロームブックを操作して学習している。		
1月	ICTの効果的な活用場面を考える(道徳)(全体)	推進リーダー	校内研究授業
2月	ICTの効果的な活用場面を考える(総合)(全体)	推進リーダー	校内研究授業
3月	端末の活用状況について情報を共有する(全体)	推進リーダー	